

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		学校園保健事業				②事業番号		7502	
③事業類型		1. 法上(必須)事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱	
⑦実施手法		○ 直営		○ 全部委託		○ 一部委託		○ 補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		9		項		①②③④④	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		指導課		会計	
								一般	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 児童生徒園児	① 児童生徒園児数	人
② 教職員	② 学校教職員数	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
法律に基づき、実施しなければならない学校園保健関係の事業を実施する。また、実施するために必要な整備も併せて行う。 児童への健康診断、教職員への健康診断	① 児童生徒園児健診費用	千円
	② 学校教職員健診費用	千円
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
児童生徒園児及び教職員等の健康の保持増進、安全確保、感染症の予防及び蔓延防止、公衆衛生の向上及び増進を図る。	① 尿検査受診者数	人
	② 学校教職員健診受診者数	人
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
子ども達等が安心して過ごせる環境をつくることのできる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	3 子どもが豊かな人間関係と学ぶ喜びを育むまちをめざします
	施策中	2 義務教育の充実
	施策小	4 安心して過ごせる学校・地域づくり

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	児童生徒園児数	人	5,627	5,391	5,172	5,002			指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	学校教職員数	人	372	418	429	429			
活動指標①	児童生徒園児健診費用	千円	4,242	4,052	4,117	4,430			
活動指標②	学校教職員健診費用	千円	1,086	1,157	1,189	1,427			
活動指標③									
成果指標①	尿検査受診者数	人	5,608	5,381	5,135	5,000			
成果指標②	学校教職員健診受診者数	人	129	138	137	150			
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人	0.50	0.50	0.15	0.40		事業費などの推移における特殊要因などの説明
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	4,054	3,856	1,145	3,053		
	直接事業費	千円	23,800	23,330	23,072	19,830		R2から学務課を指導課に統合。それに伴いR3から一部の予算を組替。	
	総事業費	千円	27,854	27,186	24,217	22,883			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	受益者負担金	千円	2,467	2,390	2,271	2,100			
	その他特定財源	千円	0	0	37	30			
	一般財源	千円	25,387	24,796	21,909	20,753			

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	学校保健安全法に基づいて実施している。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	近年の社会環境の変化は、児童生徒を取り巻く生活様式にも著しい変化をもたらしつつある。こうした変化は子どもの心身の発達に様々な影響を及ぼしており、生活習慣病や肥満、薬物乱用や性の逸脱行為、またいじめや不登校などといった健康課題が益々多様化している。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	R2から学務課を指導課に統合。それに伴いR3から一部の予算を組替。

